

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	総務	係	事務事業No.	121112
事務事業名	八坂支所一般管理経費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標							
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
八坂支所庁舎等の保守管理と一般事務経費。

事業の目的
施設の定期的な保守管理により、安全で快適な施設環境を保つ。
一般事務費の管理を行い、事務費の節減に努める。

事業内容

- ・庁舎の保守管理のため、電気、浄化槽、エレベーター、消防施設、自動ドアなど法定定期点検等を業者委託し、安全で安定した設備管理を行うとともに、故障設備等の早期発見に努める。また、夜間宿直の廃止に伴う警備保障業務を委託し防犯管理を行っている。
- ・文書配達員(臨時職員)を雇用し文書配達を行うことで、本庁との文書交換の効率化と郵送料の削減に努めている。

事業費	財源内訳	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
		総事業費(決算額)	15,223 千円	14,280 千円	16,689 千円
		国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	15,223 千円	14,280 千円	16,689 千円	

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	電気保安業務点検委託	回/年	12	12	12	12	100.0%	12
	②	浄化槽点検業務委託	回/年	1	1	1	1	100.0%	1
	③	エレベーター点検業務委託	回/年	12	12	12	12	100.0%	12
	2. 数値で表せない効果		(指標) 定期的な定期点検、メンテナンス等により、安全、衛生的な施設管理ができる。						

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

- ・定期的な経常経費であるため比較が厳しい。事業費は、施設保守のため修繕費の増減等により変動している。
- ・エレベーターの点検は、設置から18年が経過していることから、年1回の法定点検から遠隔監視装置による毎月点検及び年4回の定期点検を実施するよう変更し、より安全性を高めた。

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
	点数	3	2	2	3	2	3
評価	今後の方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	継続	法律に準備した点検の方法、回数、また施設や設備の老朽化の状況等を判断しながら、適正で計画的な保守点検を実施し、安全かつ衛生的な施設の運営管理に努めていく。					
	評価点合計	15 / 18					

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	総務	係	事務事業No.	12113
事務事業名	八坂支所車両管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標							
後期計画掲載頁		頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
八坂支所で管理している公用車の定期点検、車検整備等の維持管理

事業の目的
公用車の定期点検の実施により、安全運行管理を行う。

事業内容

- 八坂支所管理の公用車の共済保険料と車検整備及び定期点検整備の実施。
- 塩害で腐食した車体の板金整備による耐用年数の延長
- 公用車のタイヤ交換

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	719 千円	793 千円	1,536 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	719 千円	793 千円	1,536 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	公用車	台	13	13	14	14	100.0%	14
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

2. 数値で表せない効果
（指標 ）定期点検、車検により、車両の安全が確保されている。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

・山間部であることから、タイヤの消耗が激しく、また、平成28年度より地域振興車両1台の管理が増え事業費の変動がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	<ul style="list-style-type: none"> 年間の走行距離は少ないが、年式の古い車が増加し、全体の走行距離が増えており、塩カル対策の板金修理や洗車などこまめに行い、耐用年数の向上に努力する。 				
	評価点合計	16	/ 18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	総務	係	事務事業No.	121115
事務事業名	八坂地域振興事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	42	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要

- ・地域づくり委員会の開催により、市からの諮問に答申を行うとともに、地区内の課題等について市に提言を行う。
- ・地域振興車両の運行により、交通弱者の交通を確保する。
- ・地域振興団体等への活動支援をする。
- ・地域づくり協議会等の開催により、地域の活性化に対するソフト事業を展開することで、地域の活性化に繋げる。
- ・過疎地域での起業支援や過疎地域への移住者支援を行う。

事業の目的

- ・合併後の一体感の早期確立と、活気と特色ある地域づくりの支援を行う。
- ・地域振興バスの運行により、交通弱者の交通を確保する。
- ・地域づくり協議会等の開催により、地域の活性化に対するソフト事業を展開することで、地域の活性化に繋げる。
- ・地域振興団体等への活動支援をする。
- ・過疎地域での起業支援補助や過疎地域への移住者(空き家入居者)への補助を行う。

事業内容

- ・地域づくり委員会、地域づくり協議会を開催し、地区内の振興策、諸問題等への対応を検討する。
- ・診療所の送迎診療、敬老会等の行事の送迎臨時バスの運行を行い、交通弱者である高齢者の足の確保を図った。
- ・地域づくり協議会、八坂音頭保存会等への補助金を交付することにより、地域振興と特色ある地域活動の推進と支援を行った。
- ・過疎地域での起業支援補助や過疎地域への移住者(空き家入居者)への補助を行った。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費(決算額)	8,686 千円	4,097 千円	30,278 千円	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		起債			
		その他財源			
		一般財源	8,686 千円	4,097 千円	30,278 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	地域づくり委員会	回	3	2	2	2	100.0%	2
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度(H28)	達成率	次年度(H29)
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント(評価結果による改善案や今後の取り組み方法等)					
	今後の方向性	継続	過疎地域への奨励金制度を市のホームページに掲載することで、制度の検討をする人が増えた。また、空き家への入居者が増えたが、自治会等を通じて紹介出来る空き家(生活可能な空き家)、少なくなった。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	121118
事務事業名	八坂定住促進事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	24	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
若者の流失等、定住人口が減少する中で定住対策は急務な状況にある。特に集落機能の低下が進んでいる地域が見受けられ、集落の活性化が必要な状況にあることから、拠点集落内に住宅を建設し、定住を促進しながら集落機能の維持、強化を図る。

事業の目的
定住人口の減少や少子高齢化が急速に進行している中、地域活力の維持・継続を図るため、拠点集落にI・Uターン者等の定住を促進させるため定住促進住宅の整備を図り、地域に密着した定住促進対策を推進する。

- 事業内容**
- ・H26 住宅建設3棟
 - ・H27 住宅建設2棟
 - ・H28 用地買収1箇所 造成1箇所 住宅建設2棟

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	63,408 千円	39,124 千円	49,250 千円	
	財源内訳	国庫支出金	54,000 千円		
		県支出金			
		起債			35,700 千円
		その他財源		38,000 千円	
		一般財源	9,408 千円	1,124 千円	13,550 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	定住促進住宅	戸	19	21	23	23	100.0%	25
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	入居世帯	世帯	3	2	1	2	50.0%	2
	②	入居者数	人	12	5	4	7	57.1%	6
	③								

2. 数値で表せない効果
(指標)

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

入居者の確保については、定住促進係等との連携により取り組む体制づくりを進め、今後の住宅建設については、地域の受入要望等を踏まえ、定住入居者のニーズや動向を十分考慮しながら、住宅建設について、検討していく必要がある。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	住宅は、すべての集落内に建設することは不可能であるため、受入体制が整った地域自治振興会内の拠点となる集落を中心に建設し、定住を促進しながら集落機能の維持、強化を図る。平成27～28年度に野平地区へ2戸つつ計4戸を建設し、平成29年度は矢下地区へ2戸建設予定。以降は、地域自治振興会の受入要望を踏まえ、定住入居者のニーズや動向を考慮しながら、住宅建設について検討していく。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	121119
事務事業名	明日香荘管理運営費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	2	項 1 目 11
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	27	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
平成24年10月から現在の指定管理者が運営し、指定管理更新後、平成28年度から32年度まで5年間の運営を行っている。

事業の目的
市民の健康増進に資するための保養施設及び観光施設として、地域間交流の促進、観光の振興を通して、地域の活性化を図るため、施設の適正な管理を行うことにより、利用者の利便性を図る。

事業内容
施設及び設備等の修繕については、指定管理者と協議する中で計画的に行い、明日香荘の適正な管理運営を行う。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費	総事業費（決算額）	千円	1,209千円	57,453千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	千円	1,209千円	57,453千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—
	2. 数値で表せない効果 (指標)							

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
施設は、指定管理施設として管理運営されているが、建設後10年以上経過していることから、経年劣化による修繕箇所や突発的な緊急修繕が必要。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	一部重複	普通	適正である
点数	3	3	3	2	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	指定管理期間を平成28年4月1日から平成33年3月までの5年間に更新し、施設の設定目的に基づき、利用者の利便性及び健全な施設運営を図ることが必要。また、経年劣化による設備等の修繕・改修については、指定管理者と協議しながら、計画的な修繕を行い維持管理を行っていく。平成28年度からは、指定管理料を支出するとともに、一般会計で経理することとし、平成27年度で特別会計を廃止した。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	総務	係	事務事業No.	121115
事務事業名	線越明許費八坂地域振興事業				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	2	項 1 目 11
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	42	頁	個別計画				頁
事業期間	平成 18 年	～	平成		年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 ・地域振興車両の購入

事業の目的
 ・地域振興車両の購入

事業内容
 ・地域振興車両の購入 1台

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	0千円	0千円	4,230千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	0千円	0千円	4,230千円

指標名		単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	前年度（H28） 目標値	達成率 （％）	次年度（H29） 目標値
①	地域振興車両の購入	台			1	1	100.0%	0
②								
③								

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
指標名		単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（％）	目標値
①	地域振興車両の購入	台			1	1	100.0%	0
②						—	—	—
③						—	—	—
2. 数値で表せない効果 （指標）								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通
点数	3	3	3	3	2	3
評価 今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	継続 評価点合計 17 / 18	地域振興車両を購入して、交通弱者の為の診療所の送迎や山手地区の交通不便な箇所を運行することで、地域の振興を図る。				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設	係	事務事業No.	17138
事務事業名	八坂観光施設管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち				款	7	項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	18	年	～	平成		年 根拠法令・要綱等

事業の概要
八坂地区の観光施設は、鷹狩山展望施設やさざなみ、ふるさと体験館などの指定管理施設をはじめ、公衆トイレなどの施設がある。

事業の目的
施設利用者が快適に利用できるよう、施設及び設備等の維持管理に努める。

事業内容
鷹狩山展望施設・さざなみ・ふるさと体験については、指定管理制度を導入し、効率的な運営を行う。他の施設については、経年劣化により、老朽化した設備や備品等を計画的に修繕し有効利用を図る。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	6,286 千円	6,044 千円	9,349 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	6,286 千円	6,044 千円	9,349 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①						—	—	—
②						—	—	—
③						—	—	—

2. 数値で表せない効果
（指標 ）指定管理者や施設管理受託者等と協議し、施設及び設備等の改修を行い、施設利用者の利便性を図るとともに、誘客に努めた。

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
各施設とも、建設後10年以上経過し、経年劣化による修繕箇所が増えている。さらに、突発的な緊急修繕への対応にも苦慮している。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	普通	普通	重複なし	普通	適正である
点数	3	2	2	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	各施設とも、定期的な施設巡回や指定管理者及び施設管理受託者との連携を図りながら、計画的な修繕等の維持管理を行う。また、さざなみについては、施設利用者の動向を踏まえながら、指定管理業務の内容や形態見直しも含め、次期指定管理更新に向け検討していく。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	総務部	八坂支所	課	産業建設係	係	事務事業No.	18513
事務事業名	八坂住宅管理費				会計	一般会計	
まちのテーマ	市民に、より身近な市政のまち				款	8	項 5 目 1
施策目標	移り住む人をやさしく受け入れるまち						
後期計画掲載頁	48	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	25	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等

事業の概要
定住促進住宅の維持管理

事業の目的
定住促進ビジョンを基に、子育て世代や若者世代をメインターゲットに地域への定住促進と地域活性化を図る。

事業内容
 明野団地（平成9年度建設 木造平屋建 2戸） 野平団地（平成13年度建設 木造平屋建 2戸）
 明野集合住宅（平成11年度建設 低層耐火構造 1棟4戸） 大門団地（平成12年度建設 木造平屋建 1戸）
 野平団地（平成9年度建設 簡易耐火構造平屋建 2戸） // （平成12年度建設 木造平屋建 1戸）
 // （平成11年度建設 木造平屋建 2戸） 切久保団地（平成26年度建設 木造2階建 2戸）
 // （平成12年度建設 木造平屋建 2戸） 矢下団地（平成26年度建設 木造2階建 1戸）
 // （平成27・28年度 木造建設 各2戸 計4戸） ※以上23戸の定住促進住宅の修繕等の維持管理を行っている。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	1,190 千円	1,390 千円	563 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	1,190 千円	1,390 千円	563 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	定住促進住宅	戸	19	21	23	23	100.0%	25
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
	①					—	—	—
	②					—	—	—
	③					—	—	—
2. 数値で表せない効果 (指標)								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等
 経年劣化により、屋根等の塗装改修など、今後の維持管理費は、増加する見込みであり、定住促進住宅譲渡規則に基づき、定住の希望者へ譲渡できるよう検討していく。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	平成25年度から条例改正により、メインターゲットである子育て世代の皆さんが入居しやすくなるよう、入居条件の変更や家賃の減額を行い定住促進を図っている。入居者の利便性を図るため、快適な住環境づくりのための維持管理に努めていく。				
	評価点合計	17	18				